

ガンバレ！ 君ならできる



ひらやままさひろ
千歳町/平山政弘さん
(日本工学院北海道専門学校
自動車工学科2年)

子どものころからの夢だった自動車整備士を目指して、日本工学院北海道専門学校の自動車工学科に入学してから、もう2年。『あっ』という間でした。

2004年の3月21日には、国家2級整備士試験があります。この試験に合格しなければ、せっかく内定した就職も取り消しになり、この2年間の努力が無駄になってしまいます。

今は、自分の夢をかなえるためにも、試験合格を目標に追い込みをかけて勉強しています。

2004年の私は、きっと、自動車整備士として、大好きな車に囲まれて日々充実した生活を過ごしているでしょう。

最後に来年の自分へ。『ガンバレ！君ならできる』

観光客とふれあい、 会話がとても楽しい

登別観光ボランティアの黄色い腕章をぶら下げて地獄谷入口のさくりに寄りかかっていると、いろいろな人が話しかけてくれる。

九州の青年は登別と別府との温泉施設の比較、関西なまりの女子学生はだれもいない遊歩道に立つたときの不気味さを想像、母親に手を引かれた幼児は怖い鬼サンの話などしてくれて楽しかったが、この登別が気に入って何年後に再び訪れてくれた人が話しかけてくれたのもうれしかった。

例えば、中学校の修学旅行以来35年ぶりに訪れたという現在東京に住む一人旅の婦人は「確かこのようなきはなかつたように思います。だから私たちのグループが噴煙が出ている近くまで行ったら

先生に『オマエら、勝手な行動で湯の中に落っこちたら髪の毛が残らないんだぞ。今からあの世に行きたいのか！』としかられませんでした。でも、男子の生徒がそこでコツソリ卵をゆでようとしたりして」と当時を思い出し、懐かしそうに目を細める。

昭和13年に来たことがあるという道南の元気なお婆ちゃん「アソナからは知らないと思うけど、あのころはまわりが見えないくらい煙がモンモンと出ていた。だけど、あの時代の子どもらには危険なんて（意識が）なかったから、あの辺の煙が出ている山サ走って登ったもんだよ。終戦後は湯サ飛び込んだ人もいたようだも、地獄がこんなにオトナシクなっちゃった。たら、ハッハッハア」と笑った。ボランティア会員の制服である法被スタイルに抵抗感があって、



ほかの会員の方々のような働きができず、観光協会に迷惑をかけたかも知れないが、私としては初めて出会った人たちとの話が楽しかった。
(美園町/西巻弘光さん・登別観光ボランティアガイド)

7



わくわく広場のぼりべつ『アートおどろく！のぼりべつ』（7月26日・27日）

月



2003のぼりべつ豊水まつり（7月19日・20日）

2003年を振り返って ⑤